

加賀電子株式会社  
第52期（2019年3月期）  
第2四半期決算説明会資料

2019年11月28日

加賀電子株式会社

# 目次

- **2020年3月期第2四半期決算概要**
  - 2020年3月期 第2四半期決算サマリー P- 3
  - 業績ハイライト/事業部門別概況 P- 4～15
  - バランスシート/キャッシュフロー/経営指標 P-16～19
  - 2020年3月期 通期業績予想 P-20～21
  
- **<参考> 中計新セグメント開示/為替レート** P-22～27
  
- **加賀電子グループのEMS事業について**
  - 加賀電子のEMSの強み P-28～31
  - 主要生産拠点 P-32～34
  - 主な生産品目 P-35～38
  - 成長シナリオ P-39
  - 重要テーマと具体的なアクション P-40～41
  - 各アクションの概要 P-42～46
  
- **加賀電子グループの中期経営計画と中長期ビジョン** P-47

# 2020年3月期 第2四半期決算概要

加賀電子株式会社  
常務取締役 川村 英治

## 2020年3月期 第2四半期実績

- 売上高は、富士通エレクトロニクスのグループ会社化が寄与し、倍増。
- 営業利益～当期純利益まで全て増益。営業利益、経常利益は最高益更新。
- 企業買収効果および堅調なEMSビジネスが下支え、6ヶ月累計、直近3ヶ月とも「増収増益」の着地。通期予想に対して順調に折り返す。

## 電子部品事業の 概況

- EMSビジネスは、医療機器、車載関連向けを中心に増収。
- 部品販売ビジネスは、LED照明などの民生向けが順調。富士通エレクトロニクスが加わり、携帯電話、車載向けなど新たな収益がグループ業績に寄与。

## 情報機器事業の 概況

- パソコン販売は、個人および学校・教育機関向けが牽引し、増収。
- LED設置ビジネスは、大口顧客の置換需要が一服。住宅向け家電販売は、客先での納期調整の影響受け、減収。

## 通期見通し

- 先行き不透明な経営環境を慎重に見極めつつ、2Qの順調な進捗を踏まえても、通期業績見通しは期初予想から見直さず変更なし。
- 業績予想の前提となる為替レートも変更せず。

# 2020年3月期第2四半期 業績ハイライト（6ヶ月累計）

（単位：百万円）

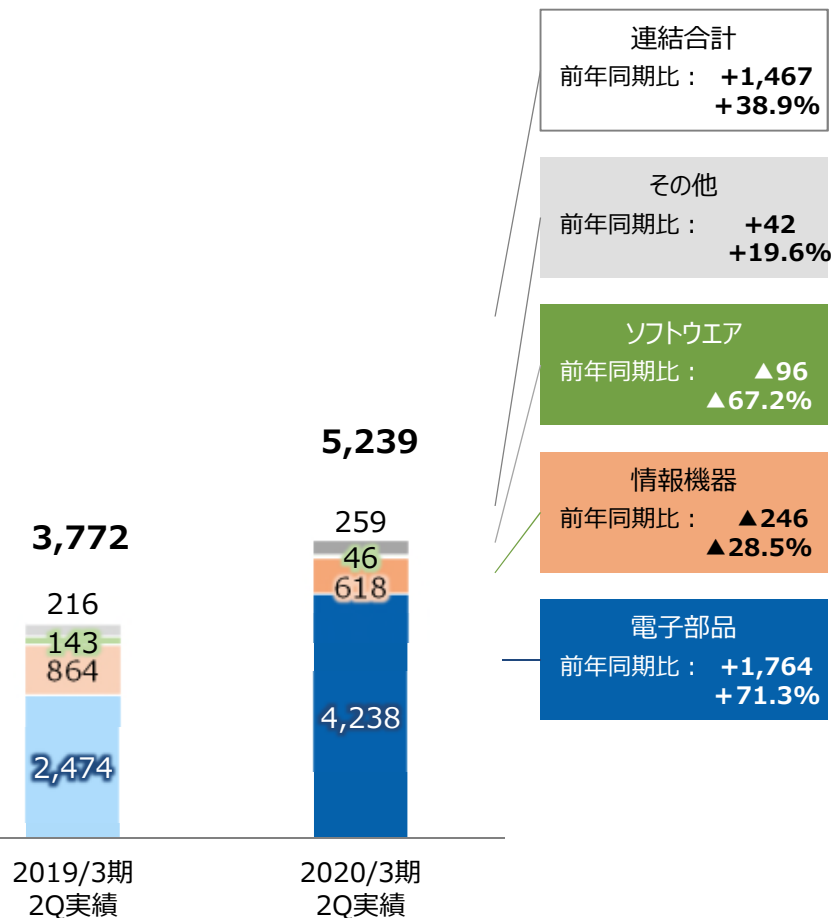
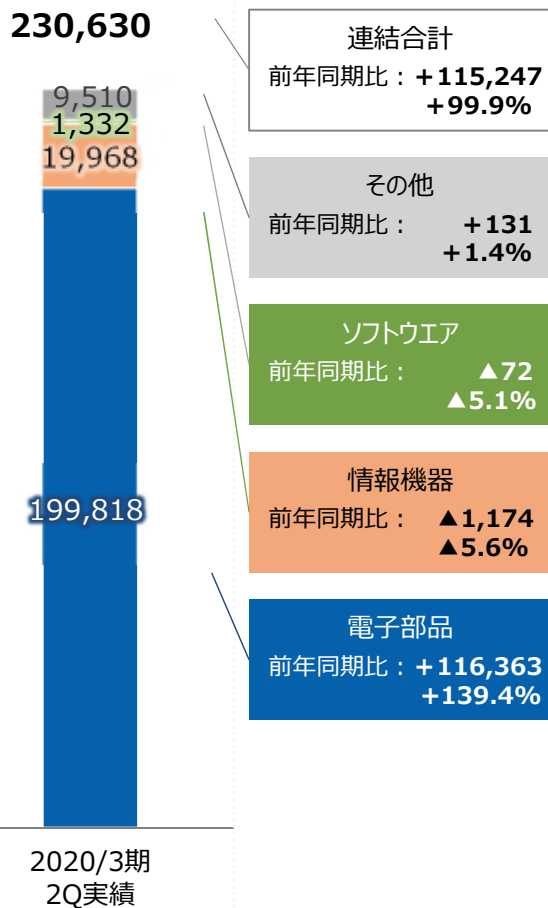
	2019/3期		2020/3期		
	Q2実績	Q2実績	前年同期比	通期予想	進捗率
<b>売上高</b>	115,383	230,630	99.9%	430,000	53.6%
売上総利益	16,023	23,771	48.4%	46,500	51.1%
同利益率 (%)	13.9%	10.3%	▲3.6pt		
販売費及び一般管理費	12,251	18,531	51.3%	39,500	46.9%
<b>営業利益</b>	3,772	5,239	38.9%	7,000	74.9%
<b>経常利益</b>	4,049	5,546	37.0%	7,000	79.2%
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	2,750	3,502	27.4%	5,000	70.1%
EPS（1株当たり四半期純利益）（円）	100.25	127.62	27.37	182.17	—
為替レート 米ドル（円）	110.26	108.63	1.63	110.00	—

# 2020年3月期第2四半期業績 事業部門別業績（6ヶ月累計）

(単位：百万円)

## 売上高

## 営業利益（セグメント利益）

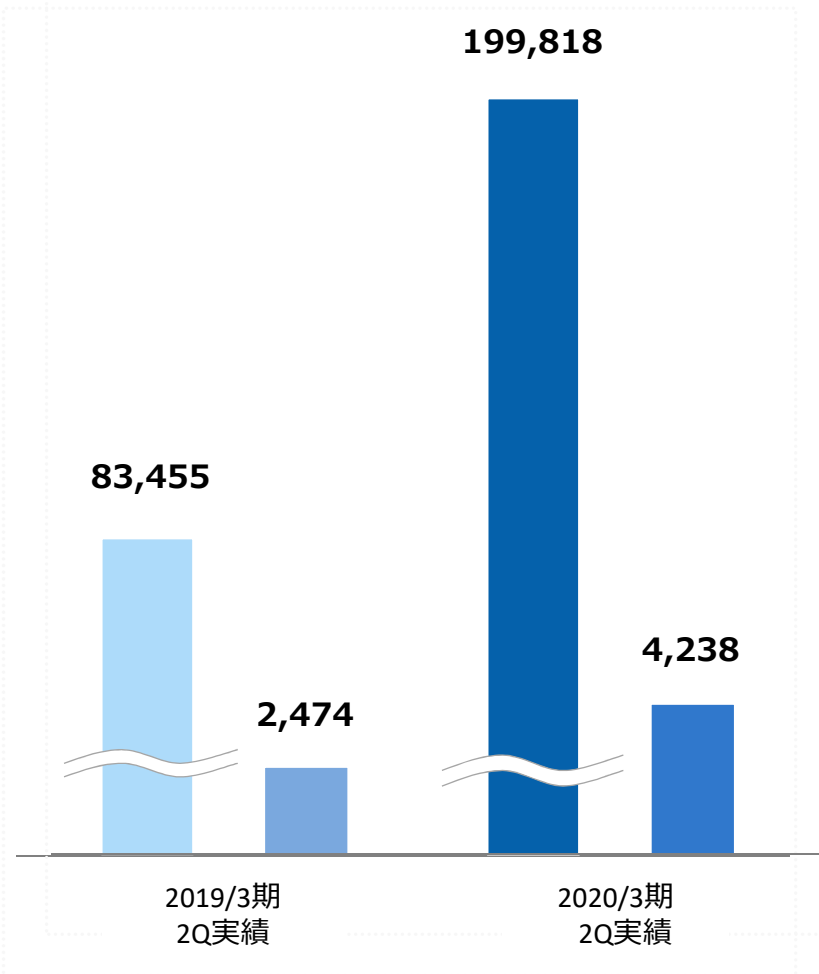


注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、連結合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

# 2020年3月期第2四半期業績：電子部品事業（6ヶ月累計）

(単位：百万円)

## 売上高・セグメント利益



## 前年同期比

- 売上高 ▶ **+116,363**百万円 **139.4%増**
- セグメント利益 ▶ **+1,764**百万円 **71.3%増**

EMSビジネスは、医療機器、車載関連向けを中心に順調

部品販売ビジネスは、LED照明など民生向けに加え、富士通エレクトロニクスの携帯電話、車載向け収益が新たに寄与



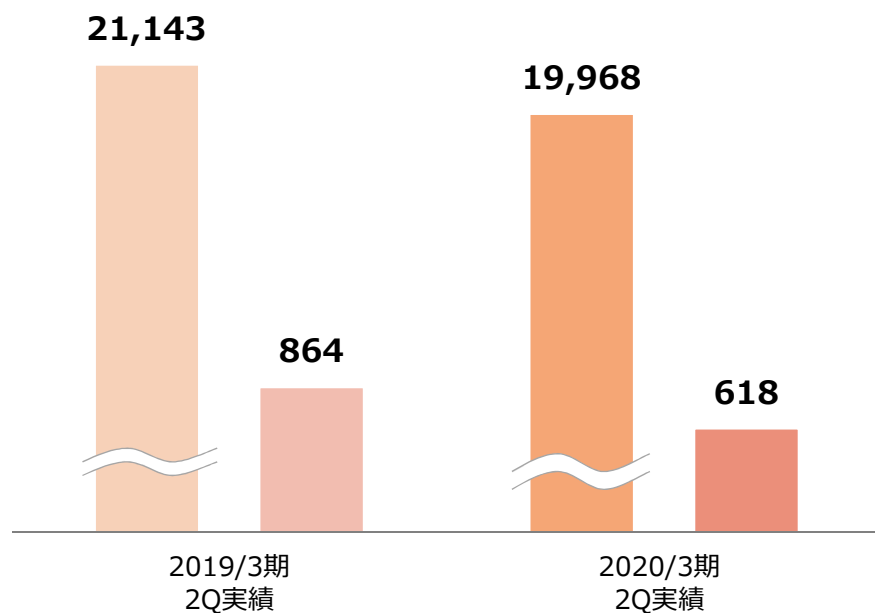
# 2020年3月期第2四半期業績：情報機器事業（6ヶ月累計）

(単位：百万円)

## 売上高・セグメント利益

## 前年同期比

- 売上高 ▶ ▲1,174百万円 5.6%減
- セグメント利益 ▶ ▲246百万円 28.5%減



個人、学校・教育機関向けPC・PC周辺機器  
販売が好調

商業施設向けLED設置ビジネスは置き換え  
需要が一服、住宅向け家電販売ビジネスは減収



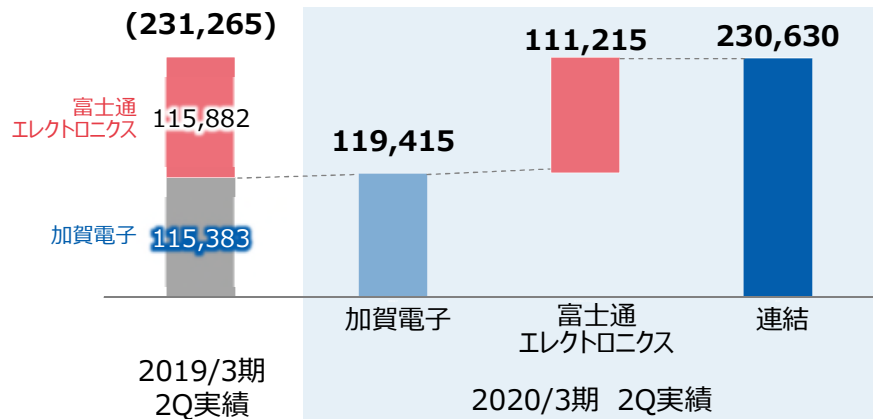


# 2020年3月期第2四半期 富士通エレクトロニクス グループ会社化の影響

※単位：百万円、( ) 内は単純合算。富士通エレクトロニクスの前期実績は非開示のため参考値

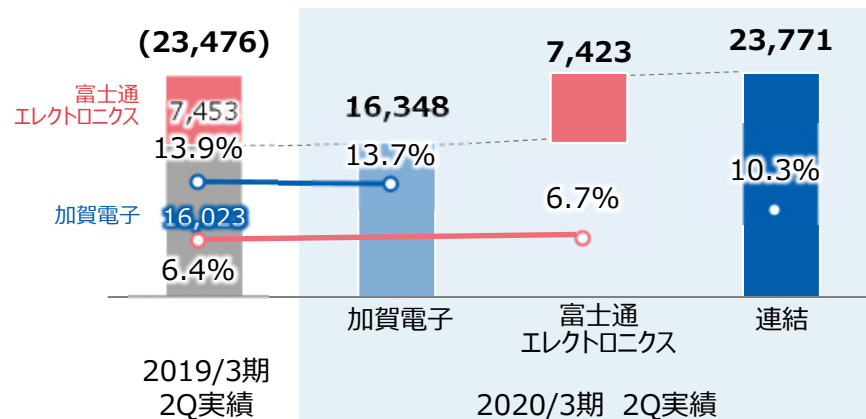
## 売上高

富士通エレクトロニクスが連結寄与、加賀電子はEMSが増収牽引



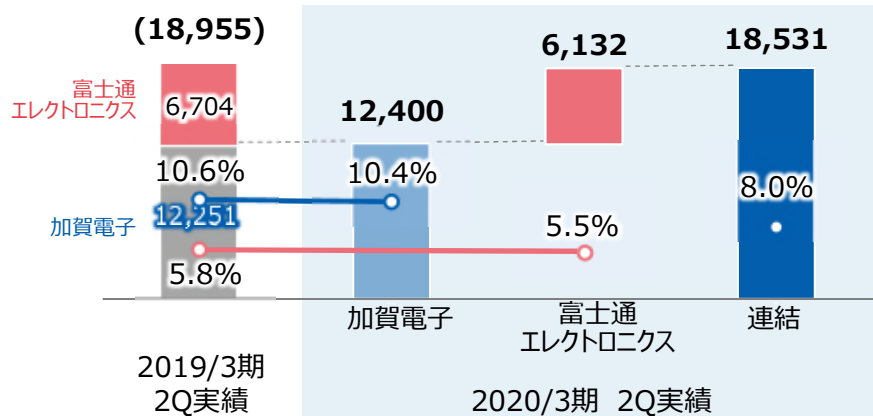
## 売上総利益 / 売上総利益率

加賀電子は粗利増益、富士通エレクトロニクスは粗利率が改善



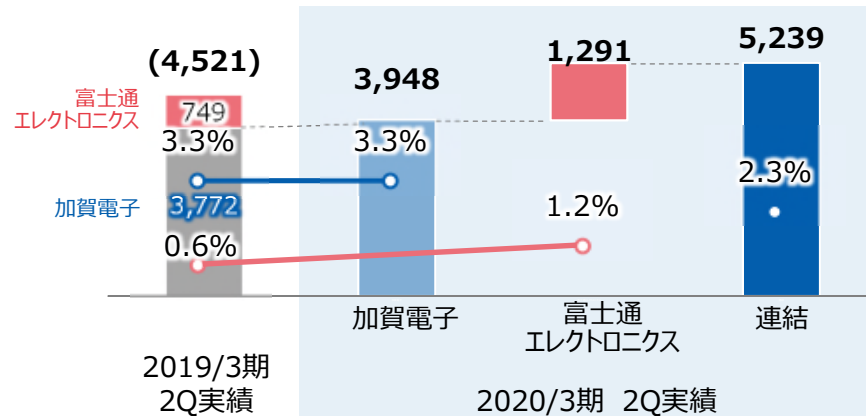
## 販管費 / 販管費率

加賀電子、富士通エレクトロニクスともに販管費を抑制



## 営業利益 / 営業利益率

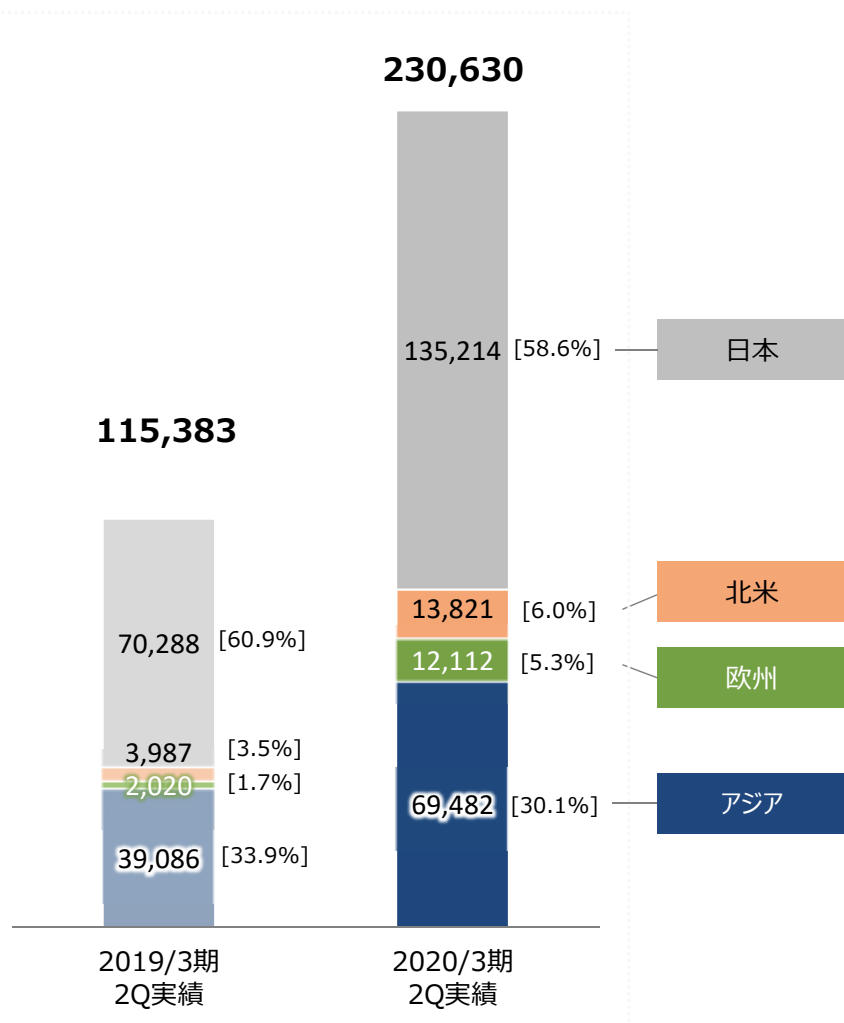
加賀電子、富士通エレクトロニクスともに増益を確保



# 2020年3月期第2四半期業績：地域別売上高（6ヶ月累計）

(単位：百万円)

## 売上高



## 前年同期比

- 日本 ▶ **+64,925**百万円 **92.4%増**
- 北米 ▶ **+9,833**百万円 **246.6%増**
- 欧州 ▶ **+10,092**百万円 **499.5%増**
- アジア ▶ **+30,395**百万円 **77.8%増**



# 2020年3月期第2四半期 業績ハイライト（直近3ヶ月）

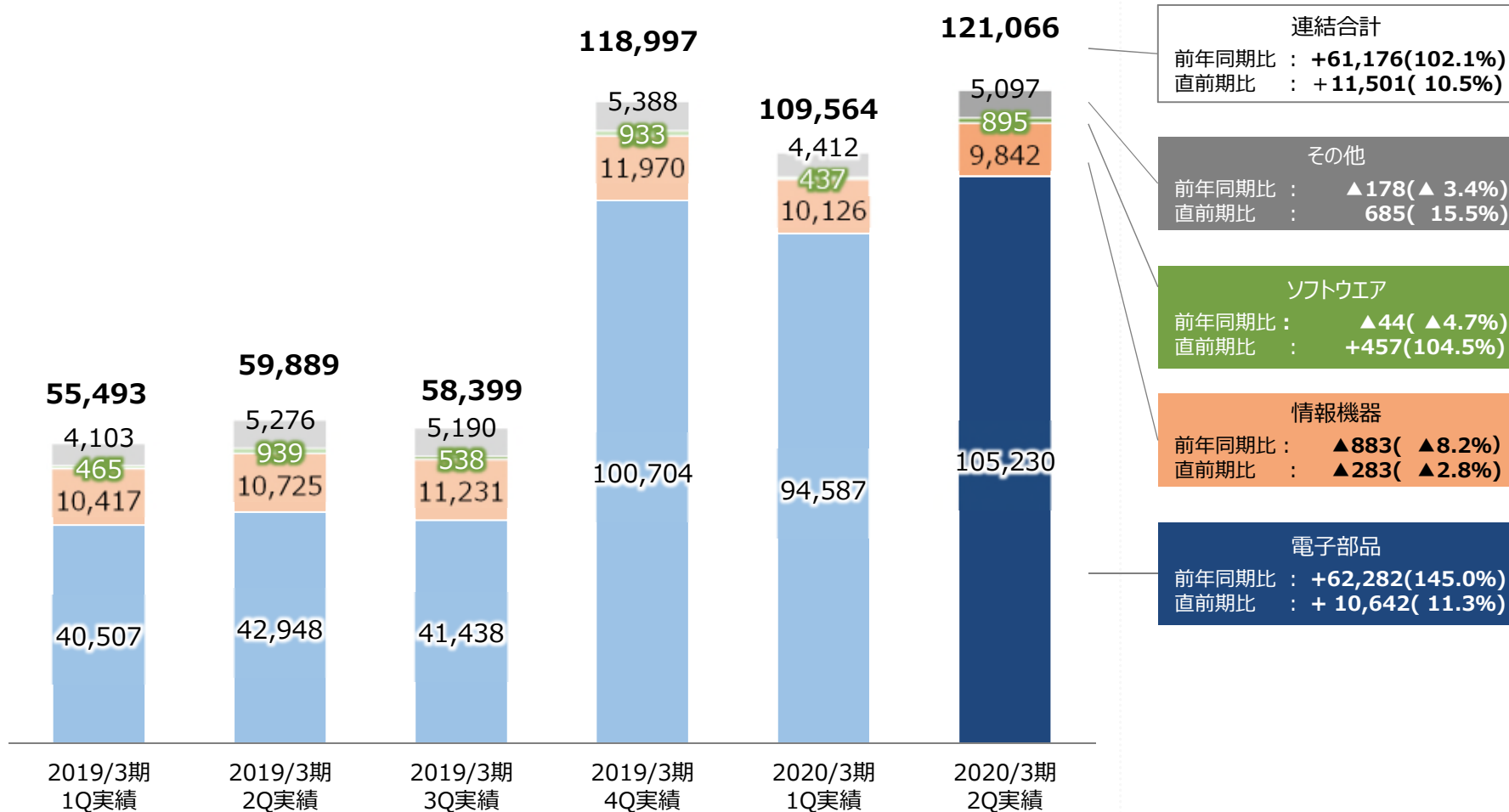
（単位：百万円）

	2019/3期	2020/3期	2020/3期	前年同期比	直前期比
	Q2実績	Q1実績	Q2実績		
<b>売上高</b>	59,889	109,564	121,066	102.1%	10.5%
売上総利益	8,381	11,062	12,708	51.6%	14.9%
同利益率（%）	14.0%	10.1%	10.5%	▲3.5pt	0.4pt
販売費及び一般管理費	6,098	9,212	9,319	52.8%	1.2%
<b>営業利益</b>	2,282	1,850	3,389	48.5%	83.1%
<b>経常利益</b>	2,369	2,045	3,500	47.7%	71.1%
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	1,601	1,350	2,152	34.4%	59.4%
EPS（1株当たり四半期純利益）（円）	58.38	49.20	78.42	20.04	29.22
為替レート 米ドル（円）	111.46	109.90	107.35	▲ 4.11	▲ 2.55

# 2020年3月期第2四半期 セグメント別業績①（売上高）

（単位：百万円）

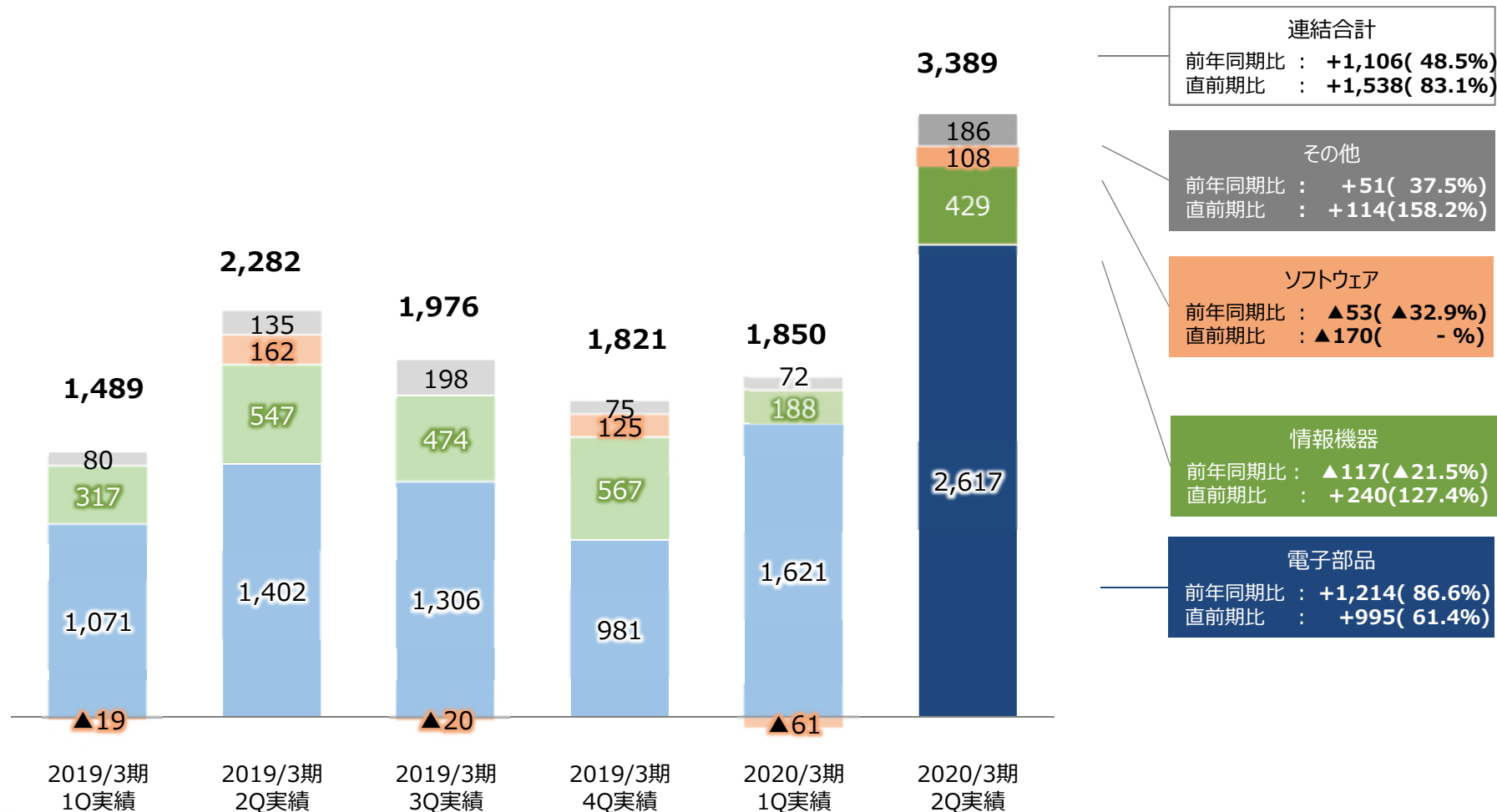
## 売上高



# 2020年3月期第2四半期 セグメント別業績② (セグメント利益・営業利益)

(単位：百万円)

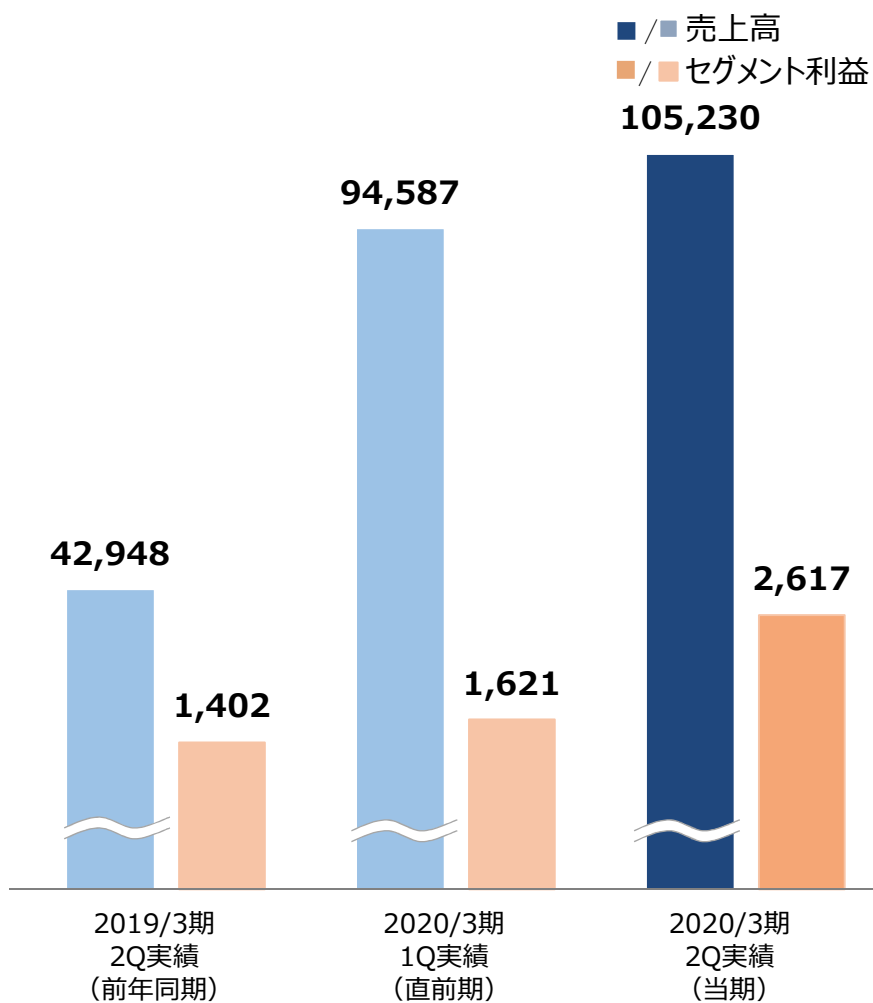
## セグメント利益・営業利益



# 2020年3月期第2四半期業績：電子部品事業（直近3ヶ月）

(単位：百万円)

## 売上高・セグメント利益



## 前年同期比

● 売上高	▶	62,282百万円	145.0%増
● セグメント利益	▶	1,214百万円	86.6%増

## 直前期比

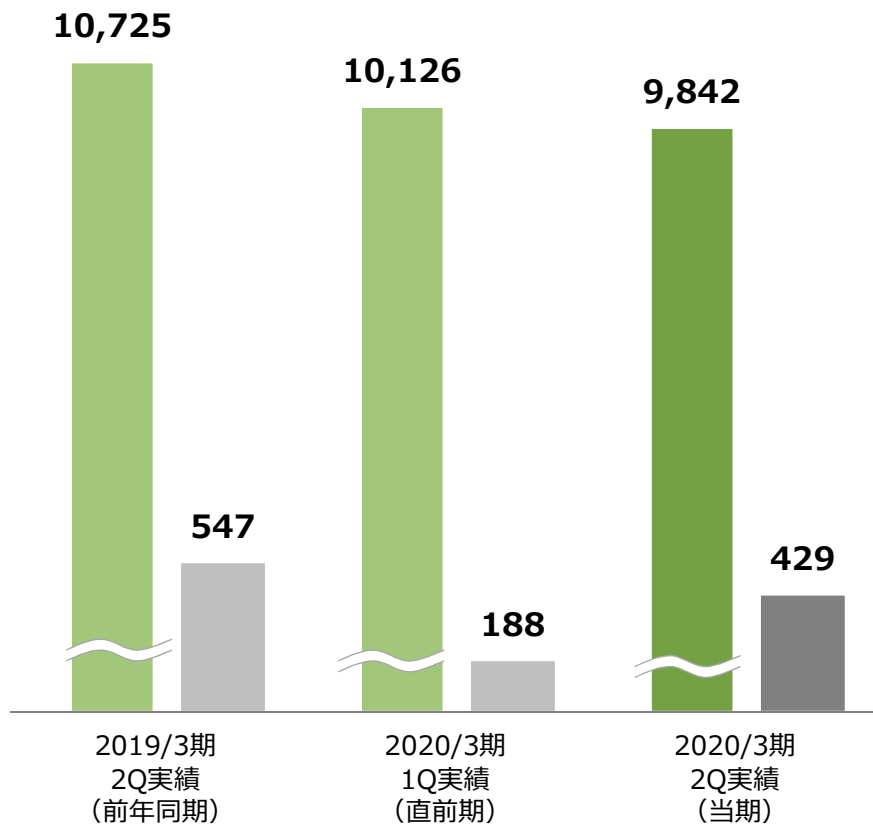
● 売上高	▶	10,642百万円	11.3%増
● セグメント利益	▶	995百万円	61.4%増

# 2020年3月期第2四半期業績：情報機器事業（直近3ヶ月）

(単位：百万円)

## 売上高・セグメント利益

■ / ■ 売上高  
■ / ■ セグメント利益



## 前年同期比

● 売上高 ▶ ▲883百万円 8.2%減  
● セグメント利益 ▶ ▲117百万円 21.5%減

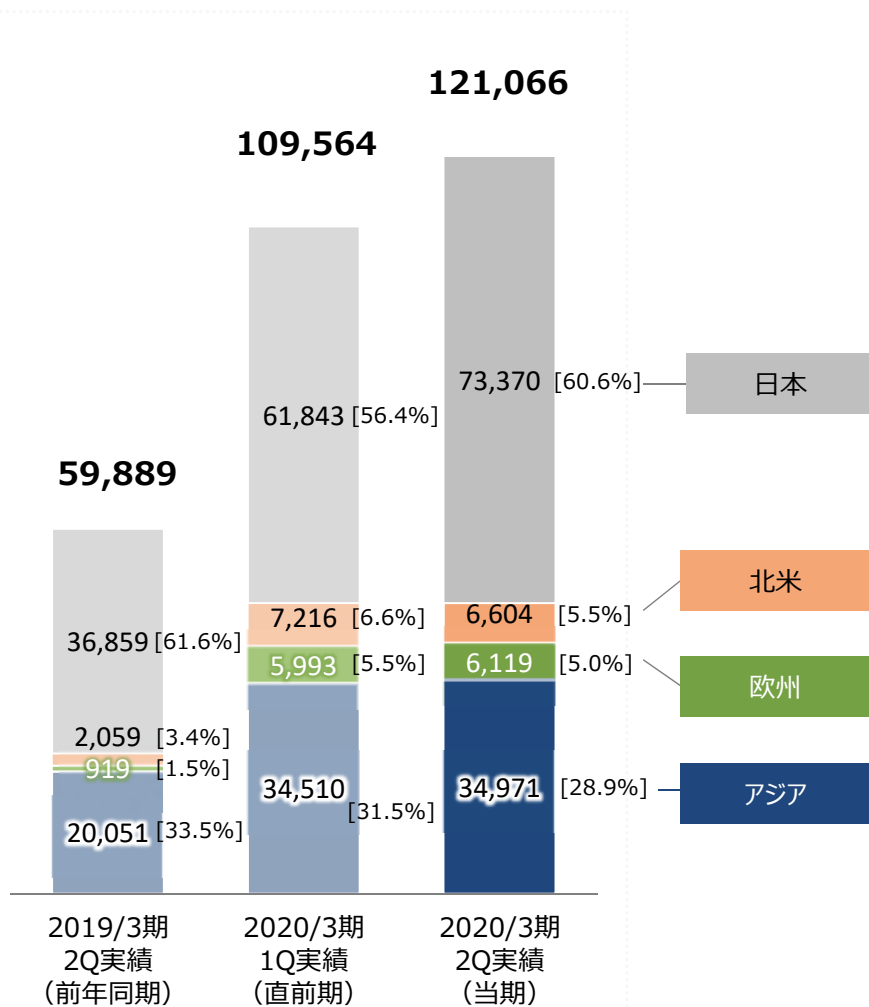
## 直前期比

● 売上高 ▶ ▲283百万円 2.8%減  
● セグメント利益 ▶ 240百万円 127.4%増

# 2020年3月期第2四半期業績：地域別売上高（直近3ヶ月）

（単位：百万円）

## 売上高



## 前年比

● 日本	▶	+ 36,511百万円	99.1%増
● 北米	▶	+ 4,545百万円	220.7%増
● 欧州	▶	+ 5,199百万円	565.3%増
● アジア	▶	+ 14,920百万円	74.4%増

## 直前期比

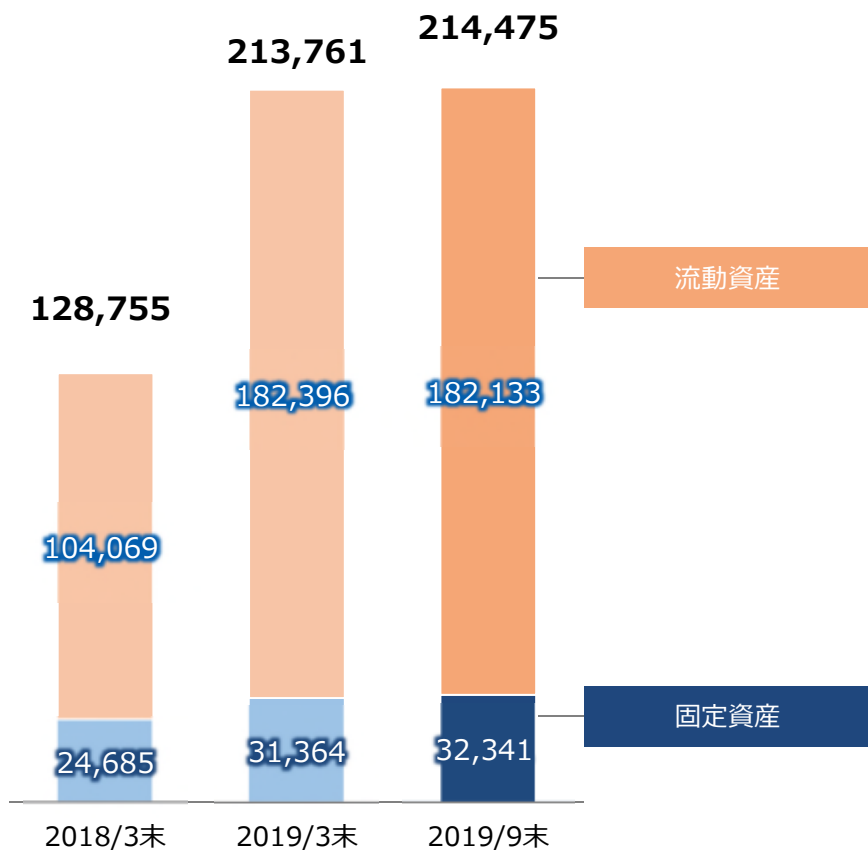
● 日本	▶	+ 11,527百万円	18.6%増
● 北米	▶	▲ 612百万円	8.5%減
● 欧州	▶	+ 125百万円	2.1%増
● アジア	▶	+ 460百万円	1.3%増



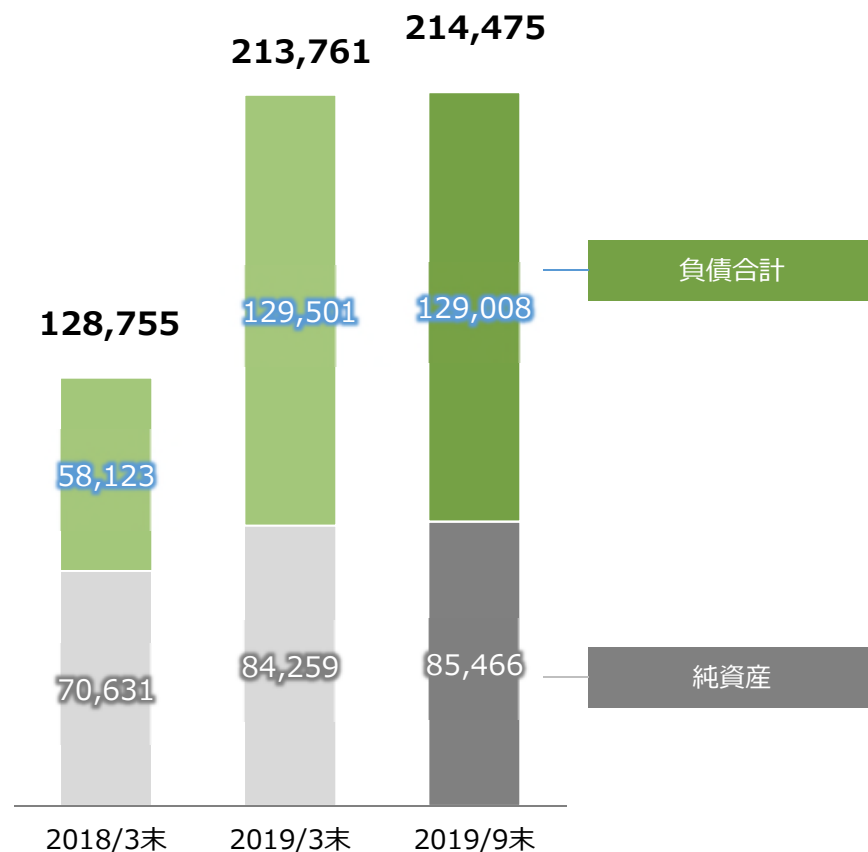
# 貸借対照表主要項目

(単位：百万円)

## 資産



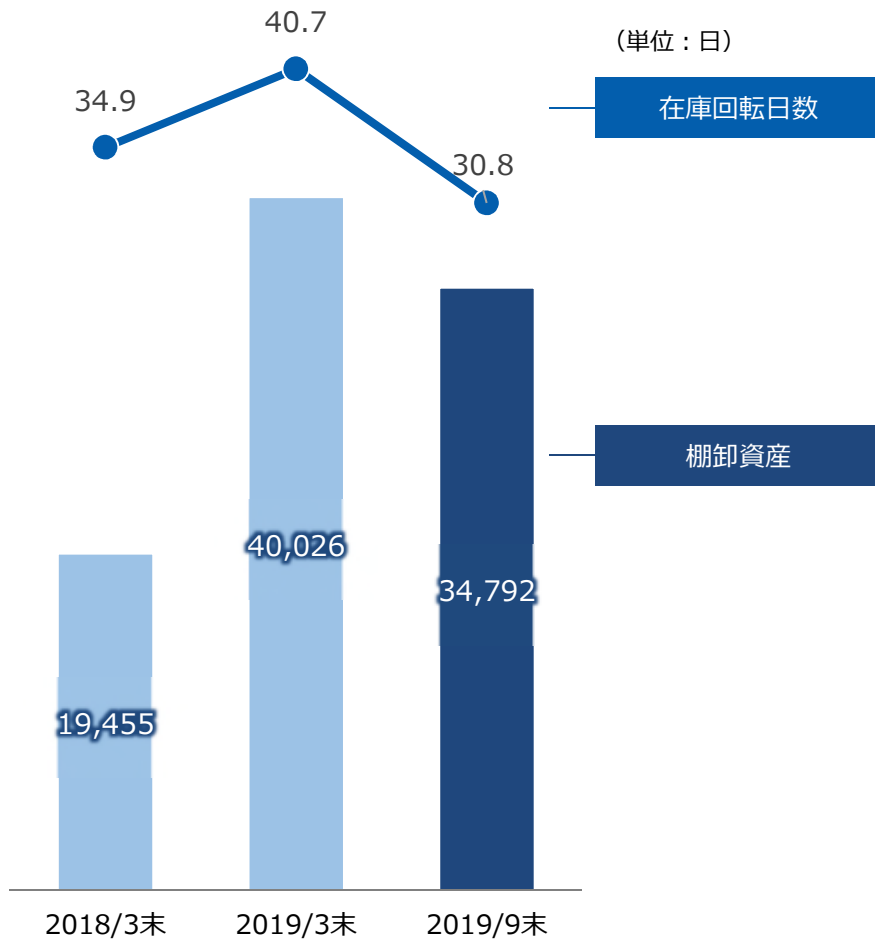
## 負債・純資産



注：『税効果会計に係る会計基準』の一部改正（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期以降の指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

# 貸借対照表主要項目

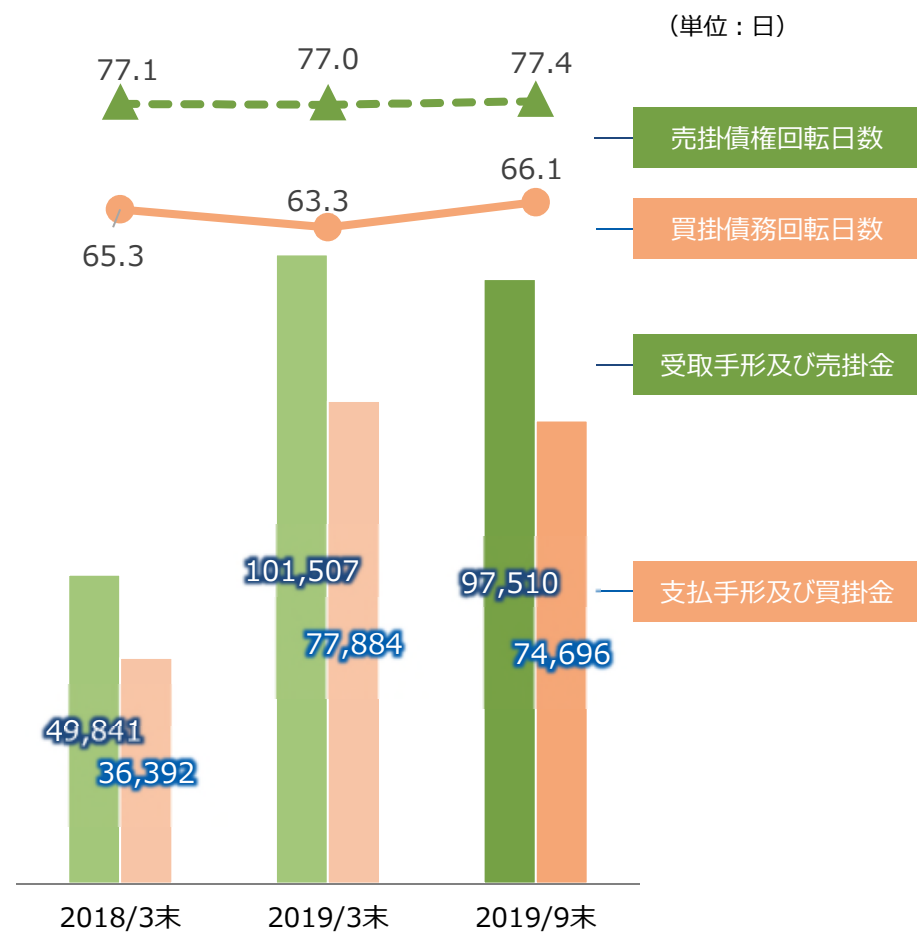
## 棚卸資産



注：在庫回転日数 = 棚卸資産 ÷ 売上原価 × 365 (9末は183) (日)

## 売掛金・買掛金

(単位：百万円)

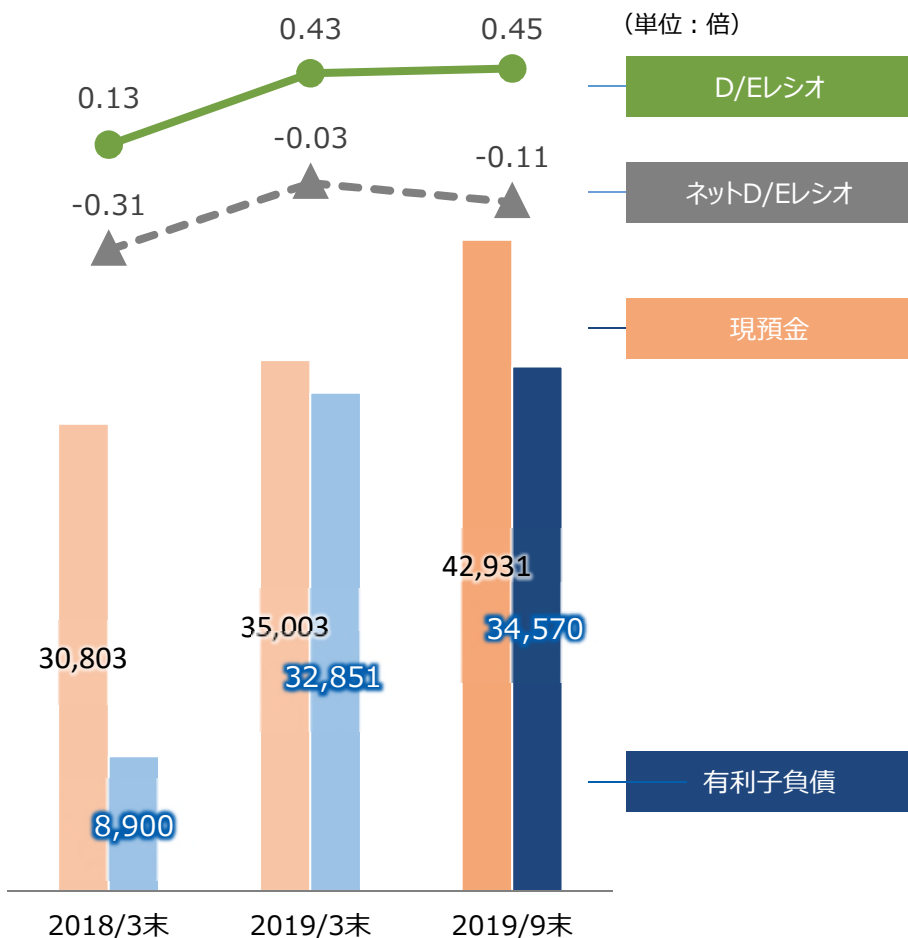


注：受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。  
 売掛債権回転日数 = 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365 (9末は183) (日)  
 買掛債権回転日数 = 支払手形及び買掛金 ÷ 売上原価 × 365 (9末は183) (日)

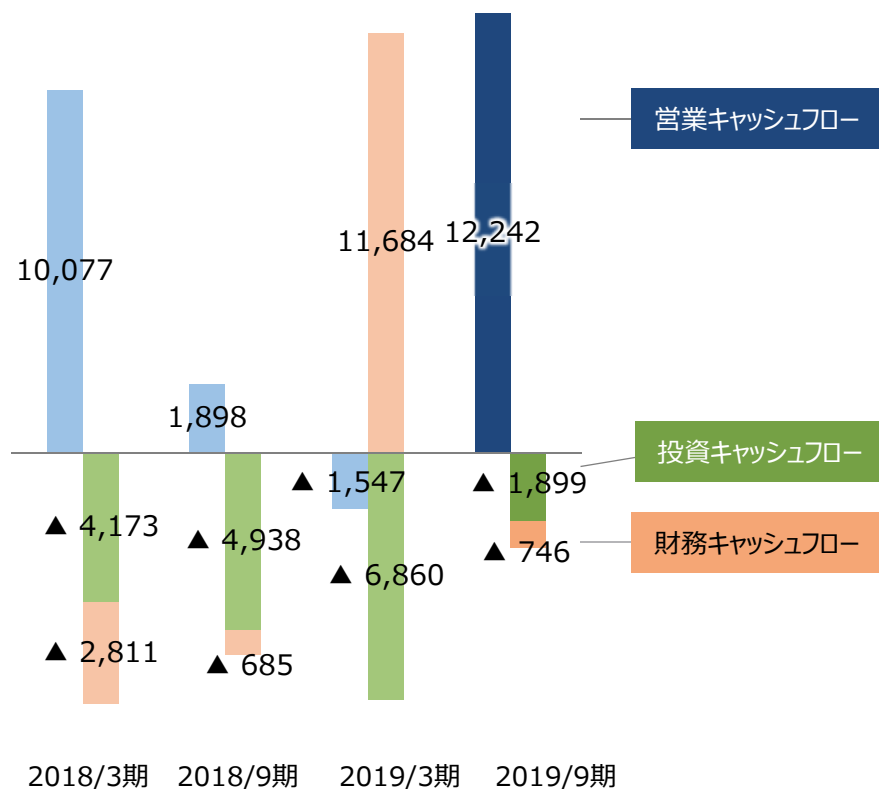
# 現預金・有利子負債/キャッシュフロー

(単位：百万円)

## 現預金・有利子負債



## キャッシュフロー

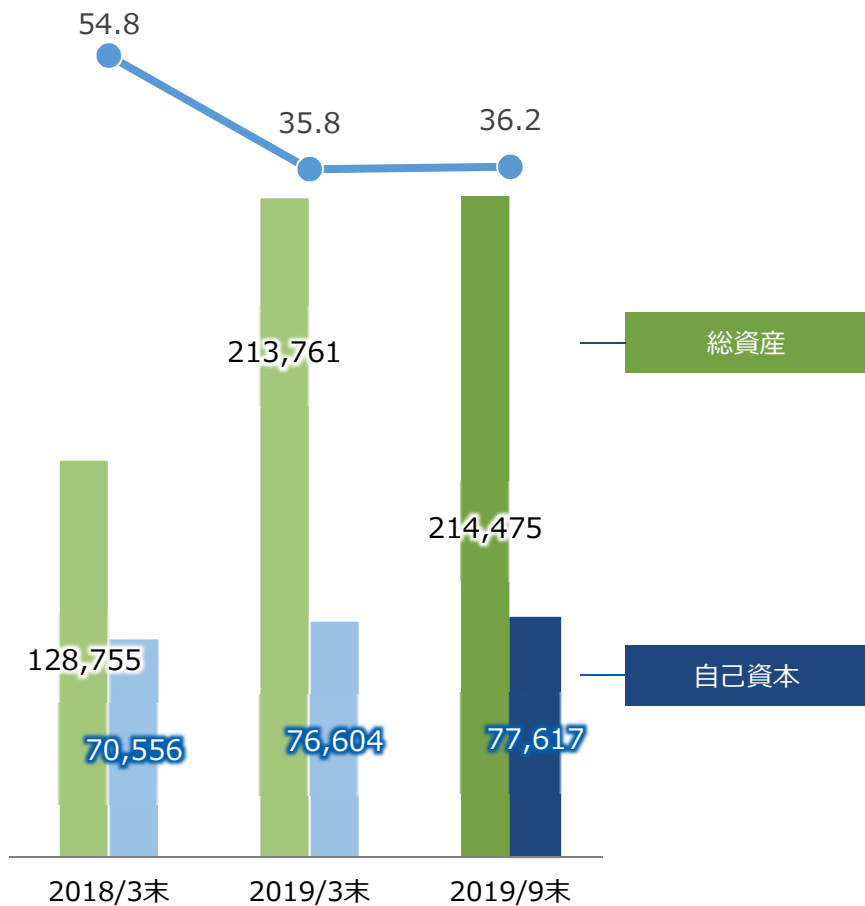


注：D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本  
 ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

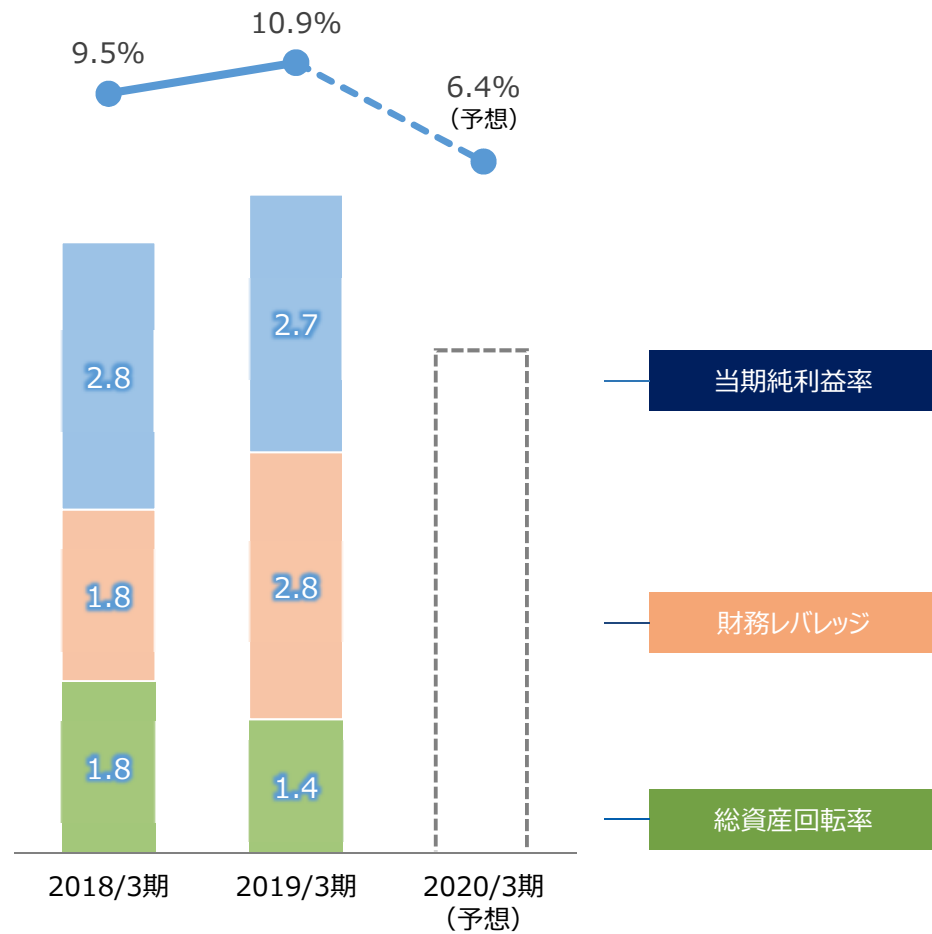
# 経営指標：安定性・効率性

(単位：百万円)

## 自己資本比率



## ROE (自己資本利益率)



# 2020年3月期 通期業績予想（2019年5月14日公表）

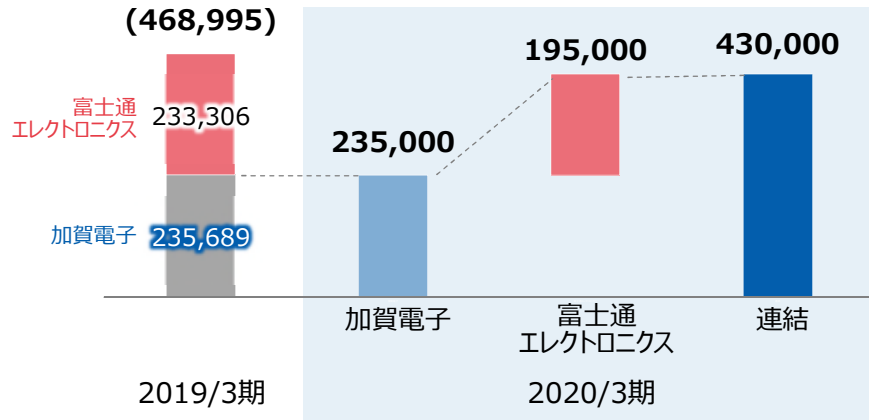
（単位：百万円）

	2019/3期 実績	2020/3期 予想	前年比
<b>売上高</b>	292,779	430,000	46.9%
売上総利益	35,546	46,500	30.8%
同利益率（%）	12.1%	10.8%	
販売費及び一般管理費	27,976	39,500	41.2%
<b>営業利益</b>	7,570	7,000	▲7.5%
<b>経常利益</b>	7,859	7,000	▲10.9%
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	8,014	5,000	▲37.6%
EPS（1株当たり当期純利益）	292.07	182.17	
ROE（%）	10.9	6.4	-

# 2020年3月期業績予想 富士通エレクトロニクス グループ会社化の影響

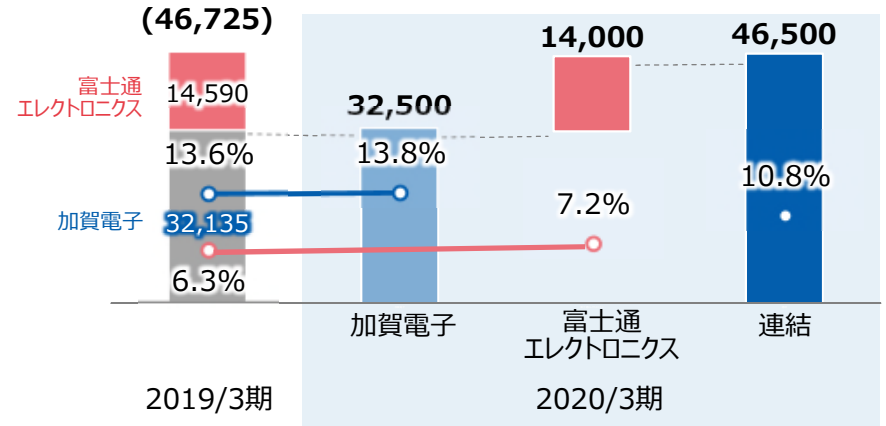
## 売上高

先行き不透明な事業環境を踏まえ、慎重な売上見通し



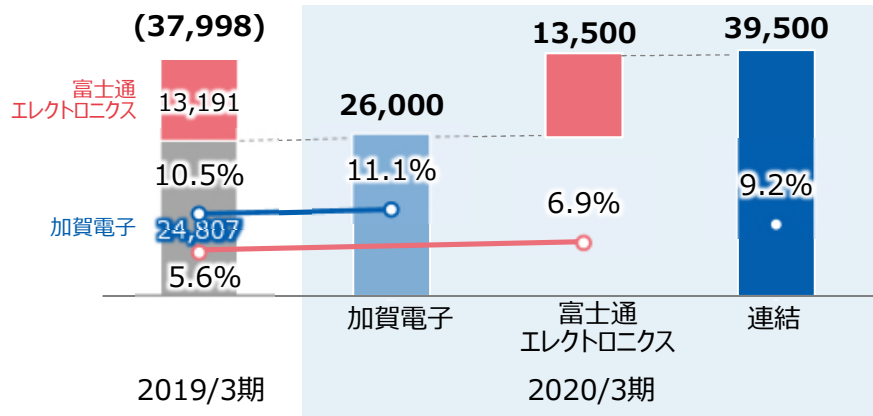
## 売上総利益 / 売上総利益率

加賀電子は前年並み、富士通エレクトロニクスは1pt利益率改善



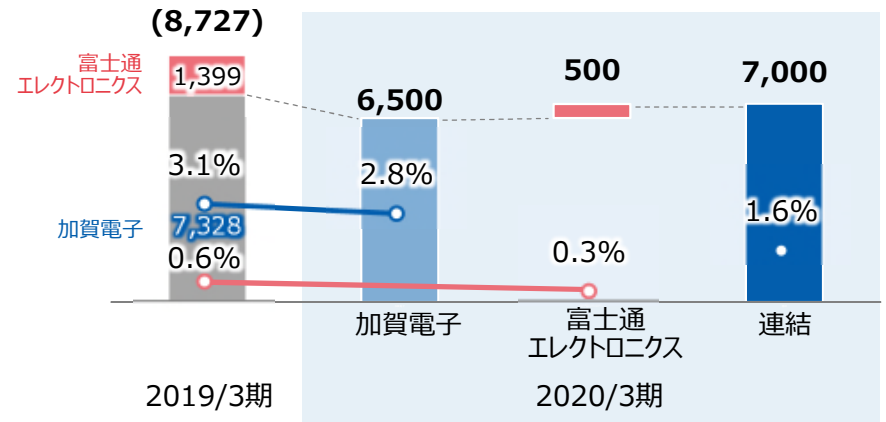
## 販管費 / 販管費率

新工場立上げ、IT関連など両社ともに費用増を見込む



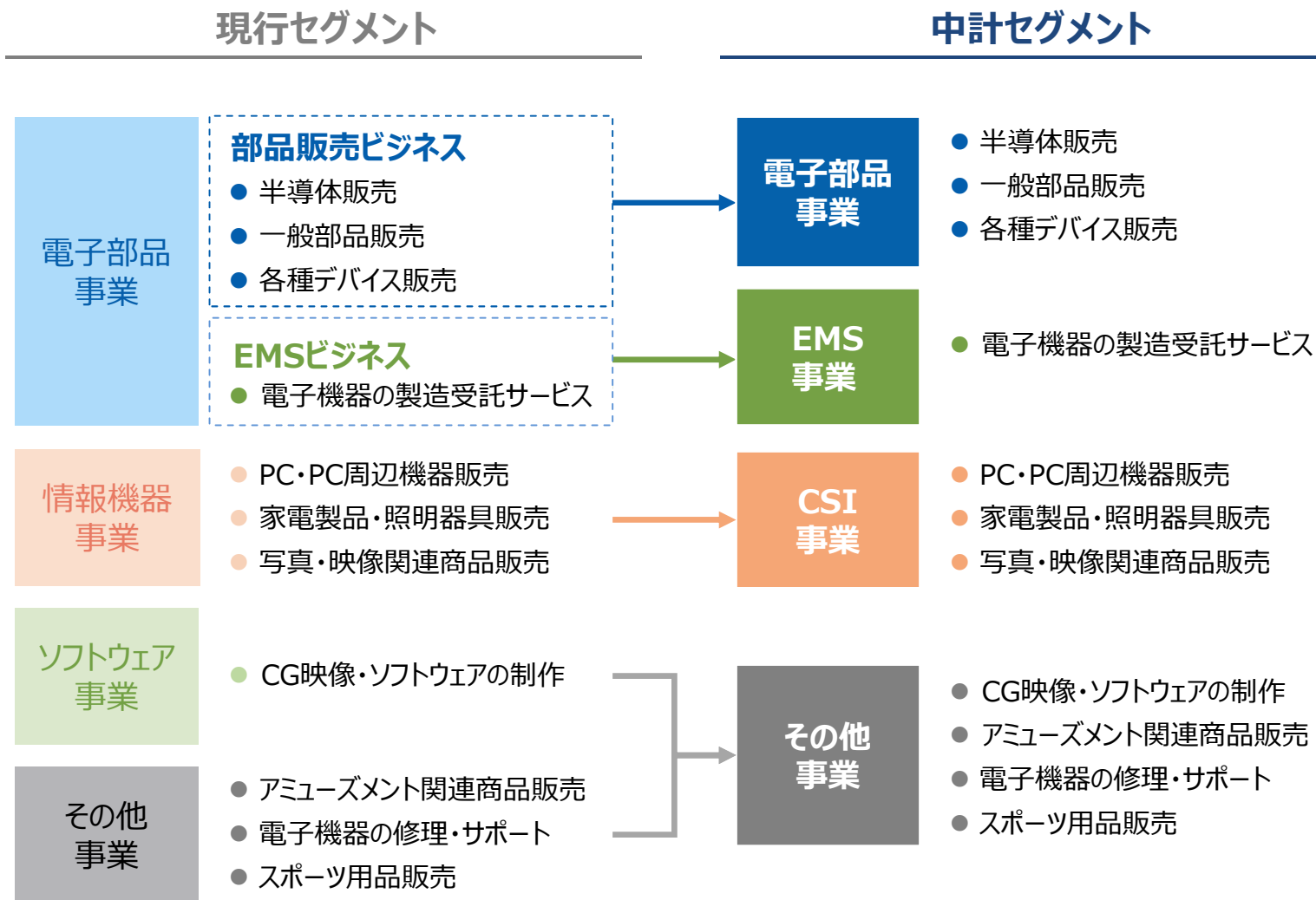
## 営業利益 / 営業利益率

富士通エレクトロニクスの利益寄与は未だ限定的



# <参考>新中計スタートに伴うセグメント開示に関して

制度開示としては現行セグメントを継続するとともに、新中計に沿ったセグメントによる任意開示を行う



# <参考>加賀電子及びグループ各社のセグメント領域

	電子部品事業	EMS事業	CSI事業	その他事業
<b>加賀電子株式会社</b>				
電子事業部	●	●	(●)	●
EMS事業部		●		
通信事業部	●	●	●	(●)
特機事業部	●	●	(●)	●
特販事業部	●	●	(●)	●
営業推進事業部	●			
<b>主な国内グループ会社</b>				
加賀テック株式会社	●	(●)	(●)	(●)
加賀デバイス株式会社	●	●	●	●
加賀ソルネット株式会社			●	
イー・ディー・デバイス株式会社	●			
加賀マイクロソリューション株式会社		●	(●)	●
株式会社デジタル・メディア・ラボ				●
加賀スポーツ株式会社				●
加賀アミューズメント株式会社				●
加賀テクノサービス株式会社			●	
富士通エレクトロニクス株式会社	●			
<b>主な海外グループ会社</b>				
加賀沢山電子（蘇州）有限公司		●		
加賀電子（上海）有限公司	(●)	●		
港加賀電子（深圳）有限公司		●		
KAGA (H.K.) ELECTRONICS LIMITED		●		
KAGA DEVICES (H.K.) LIMITED	●			
KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO., LTD	●	(●)		
KAGA ELECTRONICS (THAILAND) COMPANY LIMITED	(●)	●		
KAGA COMPONENTS (MALAYSIA) SDN.BHD.		●		
KAGA ELECTRONICS INDONESIA, PT	●	●		
KAGA ELECTRONICS (VIETNAM) CO., LTD.		●		
KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE LTD	●	(●)		(●)
KAGA ELECTRONICS (USA) INC.	●	●		
TAXAN MEXICO S.A. de C.V.		●		
KD TEC s.r.o.	●	●		



# <参考>2020年3月期第2四半期 中計セグメント別業績（6ヶ月累計）

（単位：百万円）

		2019/3期 2Q実績	2020/3期 2Q実績	前年比
電子部品	売上高	44,216	156,803	254.6%
	セグメント利益	899	2,127	136.6%
EMS	売上高	43,031	46,945	9.1%
	セグメント利益	1,624	2,100	29.3%
CSI	売上高	21,143	19,968	▲5.6%
	セグメント利益	864	618	▲28.5%
その他	売上高	6,991	6,912	▲1.1%
	セグメント利益	310	316	2.1%
合計	売上高	115,383	230,630	99.9%
	セグメント利益	3,772	5,239	38.9%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

# <参考>2020年3月期第2四半期 中計セグメント別業績（直近3ヶ月）

（単位：百万円）

		2019/3期 2Q実績	2020/3期 2Q実績	前年比
電子部品	売上高	23,208	84,698	265.0%
	セグメント利益	635	1,651	160.0%
EMS	売上高	21,927	22,425	2.3%
	セグメント利益	786	830	5.6%
CSI	売上高	10,725	9,842	▲8.2%
	セグメント利益	547	429	▲21.5%
その他	売上高	4,028	4,099	1.8%
	セグメント利益	279	430	54.2%
合計	売上高	59,889	121,066	102.1%
	セグメント利益	2,282	3,389	48.5%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

# <参考>2020年3月期 中計セグメント別通期業績予想

(単位：百万円)

		2019/3期 実績	2020/3期 予想	前年比
電子部品	売上高	145,042	282,000	94.4%
	セグメント利益	2,278	2,200	▲3.4%
EMS	売上高	89,481	95,000	6.2%
	セグメント利益	2,667	2,800	5.0%
CSI	売上高	44,344	40,000	▲9.8%
	セグメント利益	1,906	1,500	▲21.3%
その他	売上高	13,912	13,000	▲6.6%
	セグメント利益	554	500	▲9.7%
合計	売上高	292,779	430,000	46.9%
	セグメント利益	7,570	7,000	▲7.5%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

# 為替レート

	2019/3期 2Q実績 (円)	2020/3期 2Q実績 (円)	(参考、半期ベース) 1%変動による影響額(百万円)		2020/3期 前提 (円)
			売上高	経常利益	
米国ドル	110.26	108.63	927	20	110.00
タイバーツ	3.40	3.49	124	7	3.40
人民元	17.09	16.20	103	4	17.00
香港ドル	14.05	13.86	113	2	14.00

# 加賀電子グループのEMS事業について

## EMS事業の概要と成長戦略

加賀電子株式会社

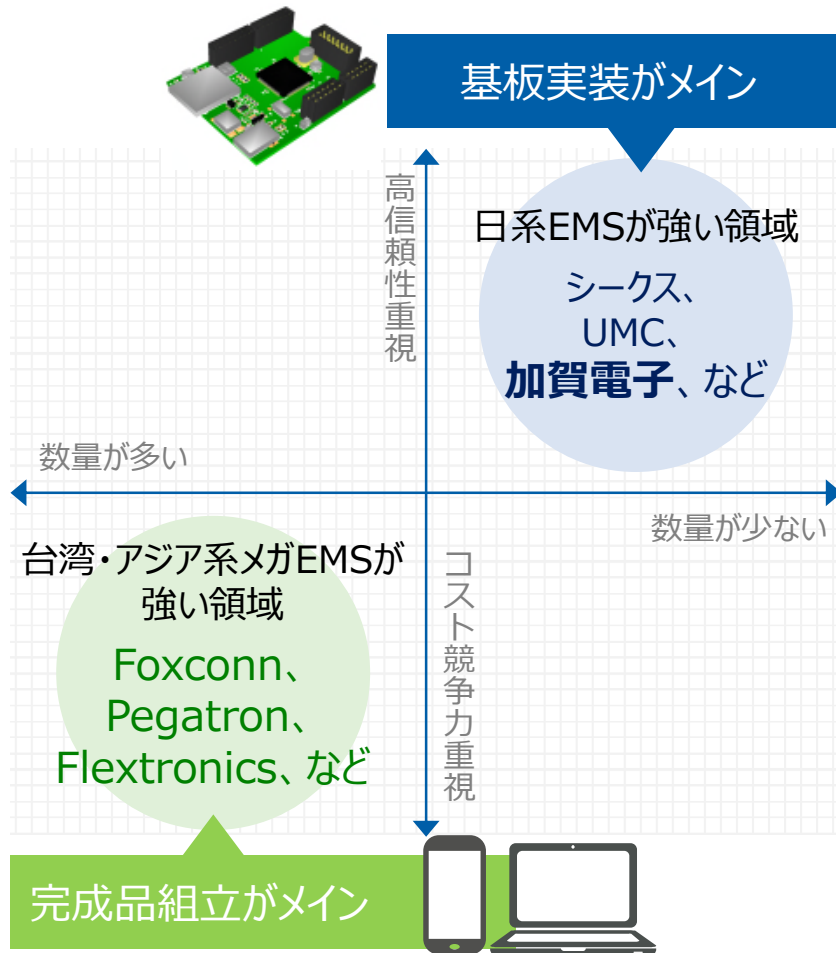
取締役

EMS事業部長 俊成 伴伯

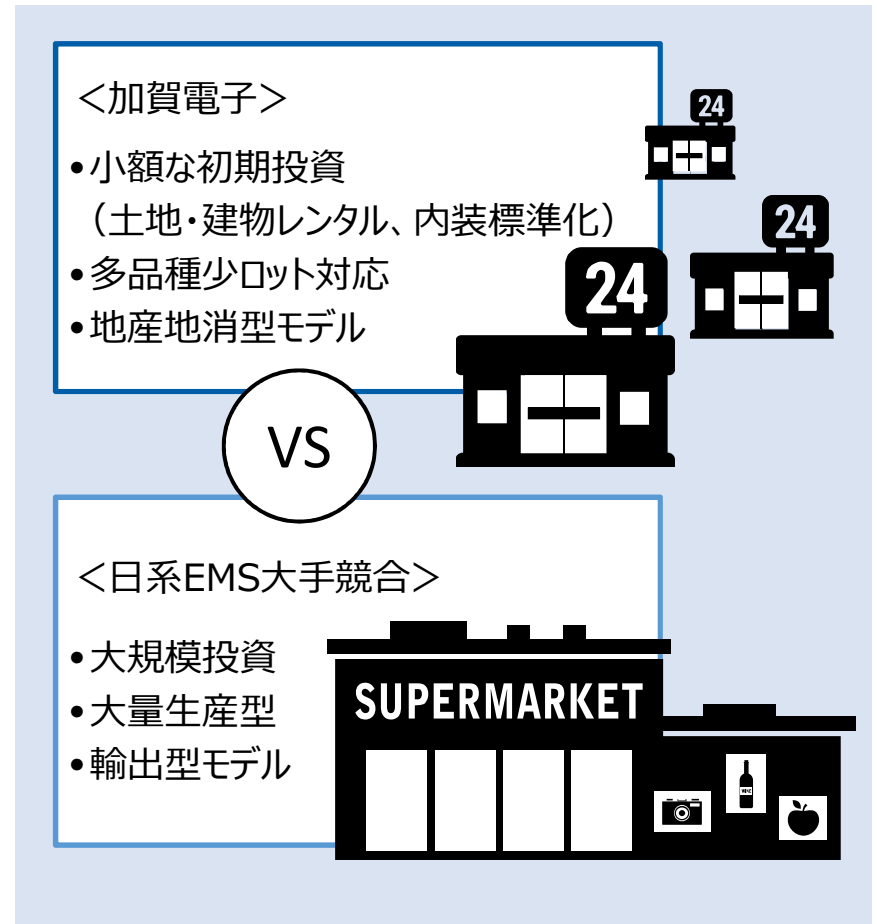
# 加賀電子グループEMSの強み-①：コンビニ型EMS

## 加賀電子はお客様にとって便利で価値ある「コンビニ型EMS」をグローバルに展開

### 日系EMS vs 台湾・アジア系EMS



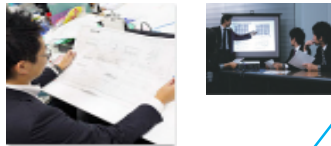
### コンビニ型EMS vs GMS型EMS



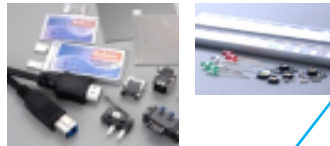
# 加賀電子グループの強み-②：ワンストップ

製造受託に留まらず、販売・販売後サポートまでワンストップで対応できるグループ総合力

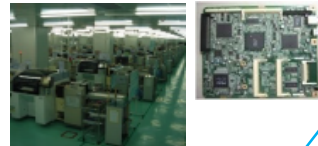
企画・開発・設計



部品調達・キitting



EMS・製造受託



販売・ディストリビューション



サポート・アフターサービス



加賀電子

加賀テクノサービス

加賀デバイス

加賀マイクロソリューション

加賀ソルネット

サンコーエンジニアリング

加賀アミューズメント

イー・ディーデバイス

加賀アミューズメント

デジタル・メディア・ラボ

加賀テック

加賀EMS十和田

加賀電子 (上海) / KAGA (H.K.)

加賀電子 (大連)  
KAGA (台湾)  
KAGA (KOREA)

KAGA COMP (MALAYSIA)

KAGA (THAILAND)/KAGA(VIETNAM)

KAGA (SINGAPORE)

KAGA (INDIA)

KD TEC (チェコ)

KAGA USA

富士通エレクトロニクス

TAXAN MEXICO

富士通エレクトロニクス

# 加賀電子グループの強み-③：グローバル

## 10ヶ国/19拠点に展開するEMSグローバル生産体制で、顧客ニーズに迅速且つ柔軟に対応

- チェコに実装設備を設置、欧州での受注開始
- トルコにも進出、欧州事業を強化
- 中国ローカル企業との取引拡大
- 欧米企業との取引拡大
- 中国内販売を行う日系企業との取引拡大

- EMS拡大
- 部品キット販売拡大
- 新規顧客開拓

- 中国生産からメキシコ生産へシフト
- シカゴにセールスオフィスを開設し、営業活動を強化

### 欧州

ハンガリー  
ドイツ  
チェコ  
イタリア  
トルコ

### 中国・アジア

中国  
湖北  
大連  
韓国  
深圳  
香港  
蘇州  
上海  
台湾  
タイ  
ベトナム  
マレーシア  
フィリピン  
インド  
インドネシア

### 日本

### 米州

サンノゼ  
サニーバイル  
メキシコ  
デトロイト  
シカゴ  
ボストン

### アセアン

- 日系顧客へのさらなる深掘り
- 中国からの生産移管に対応

● 営業拠点 ● 製造拠点



# 主要生産拠点のご紹介：中国

## 港加賀電子（深圳）有限公司

設立	1999年
従業員数	950名
生産品目	車載関連製品、産業機器、事務機器、 アミューズメント機器、通信機器



<深圳工場>

## 加賀沢山電子（蘇州）有限公司

設立	2009年
従業員数	360名
生産品目	車載関連製品、医療機器、産業機器、 住設関連製品、電子楽器、通信機器



<蘇州第1工場（輸出用）>

# 主要生産拠点のご紹介：アセアン

## KAGA ELECTRONICS (THAILAND)

設立 2002年

従業員数 690名

生產品目 車載関連製品、事務機器、空調機器、産業機器

## KAGA ELECTRONICS (VIETNAM)

設立 2017年

従業員数 120名

生產品目 車載関連製品、空調機器、事務機器、医療機器



<タイ第1工場>



<ベトナム工場>

# 主要生産拠点のご紹介：欧州・米州

## KD TEC

設立 2009年

従業員数 120名

生產品目 空調機器



<チエコ工場>

## TAXAN MEXICO

設立 2017年

従業員数 160名

生產品目 車載関連製品、事務機器、産業機器



<メキシコ工場>

# 主な生產品目：各種基板

事務機器用基板



通信機器用Lサイズ基板



電源系基板



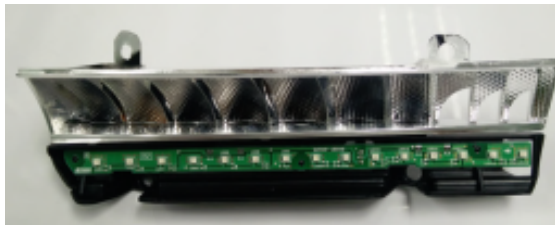
LED関連基板



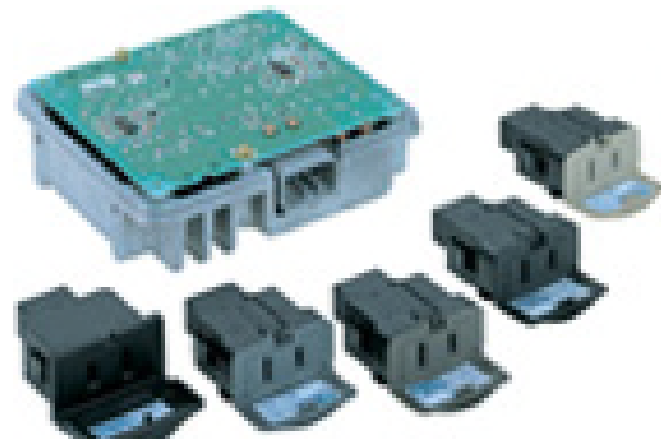


# 主な生產品目：車載関連ユニット

## 車載用照明ユニット

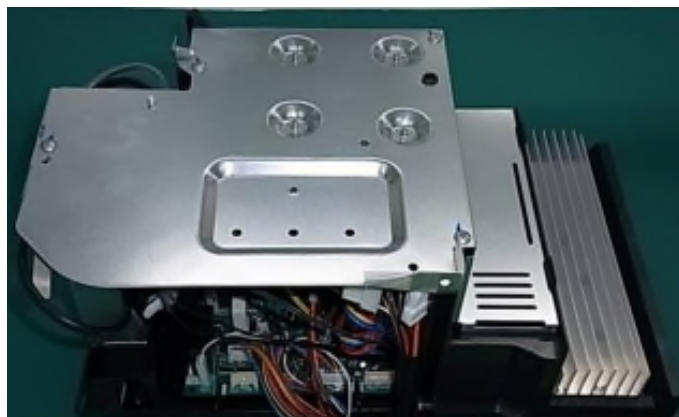


## ACインバータユニット



# 主な生產品目：各種ユニット

空調機器ユニット



FA機器タッチパネルモニター



# 主な生產品目：各種完成品

## 車載関連製品



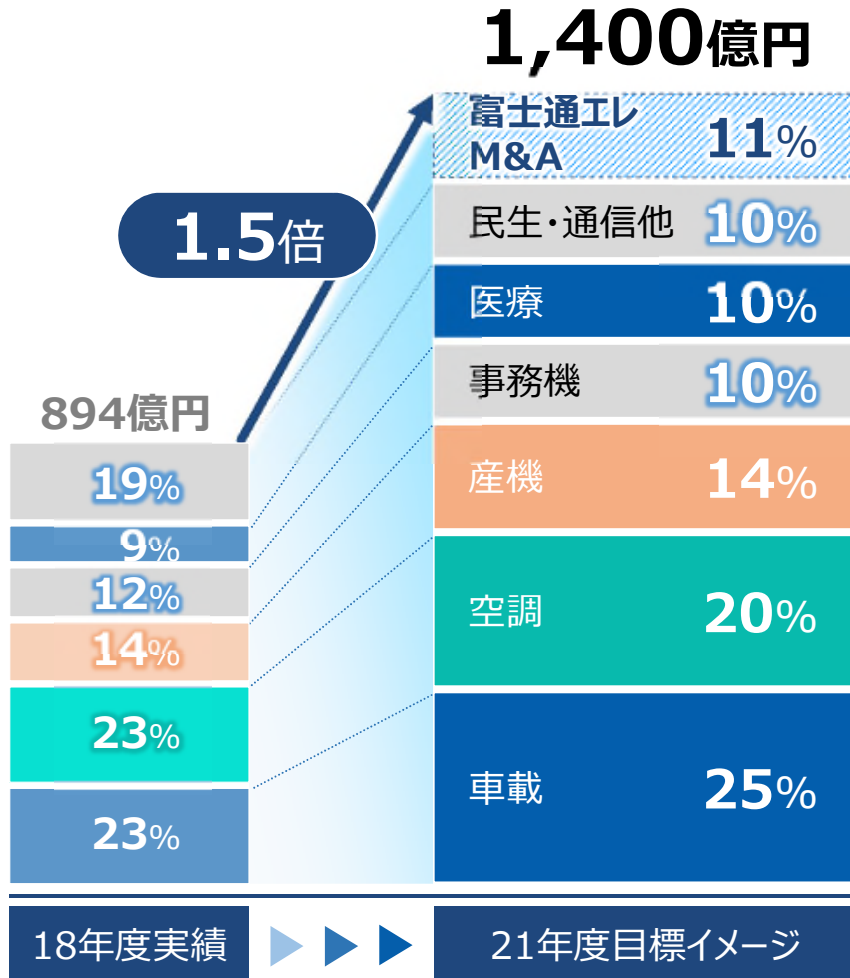
<カーナビゲーション>

## 医療関連機器



<薬保管キャビネット>

「車載」「産業機械」「空調」医療・ヘルスケア」を成長ドライバーに、18年度比1.5倍の事業規模へと飛躍的な成長を目指す



## ポイント



- 中国・アセアン・欧州での既存生産能力に加え、新設のベトナム・メキシコ・トルコ・インド各拠点の本格寄与により、「車載」「産機」「空調」「医療」の成長分野で事業拡大。
- 富士通エレクトロニクスが持つ有力顧客に対して、「キーデバイス+EMS」のアプローチを展開する。
- EMSビジネスの更なる規模拡大を目指し、国内外で新たなM&A機会に挑戦する。



富士通エレクトロニクスが持つ欧米有力顧客のEMSシフトに併行して、「ボリューム」「クオリティ」「コスト」を強化し、事業競争力を総合的に高める。



## 生産能力の増強

- 米中貿易問題長期化に伴う“中国からの生産移管”の動き、為替変動や人件費高騰を回避する製造業の“国内生産回帰”に動きに機動的に対応する。



## エンジニアリング力の強化

- 汎用設備に依存せず、自社内エンジニアリング力を活用して、“コンビニ型EMS”に最適コストの生産設備を自社開発することにより、コスト競争力を高める。



## ものづくり力の強化

- 十和田パイオニアの買収により、エレクトロニクス専門メーカーとして長年培ってきた同社の「ものづくり」のノウハウ、優秀な生産系人財と生産設備、治具設計、品質保証体系などリソースを共有することで、EMSビジネスの品質レベルの一層の向上、競合他社との競争優位性を強化する。
- 十和田パイオニア、福島新工場を“マザー工場”と位置付け、海外拠点との連携、全体最適化を推し進め、経営体質の強化と事業効率の向上を図る。

# 具体的なアクション

十和田パイオニアの 買収	 生産能力の増強	• “国内生産回帰”に伴う需要増の取り込み
	 ものづくり力の強化	• 生産ノウハウ、優秀な生産系人財を共有 • 基板実装のマザー工場
	 エンジニアリング力の強化	• 生産設備設計、治具製作等のリソースを共有 • 自社開発の生産設備のグローバル展開に向けた検証テスト
福島新工場の 建設	 生産能力の増強	• “国内生産回帰”に伴う需要増の取り込み
	 ものづくり力の強化	• 完成品組立のマザー工場
タイ第2工場の 建設	 生産能力の増強	• 米中貿易問題の影響を回避した“中国からの生産移管”の取り込み
中国合併事業	 エンジニアリング力の強化	• 多品種小ロット生産に適した自社開発の生産設備による差別化

# 十和田パイオニア(株)買収の概要

## 加賀EMS十和田



## 買収のスキーム

2019年10月1日付でパイオニア(株)より十和田パイオニア(株)の株式を取得しグループ会社化。

## 買収後の名称

加賀EMS十和田株式会社

## 所在地

青森県十和田市

## 事業内容

車載用電子機器、医療機器の  
基板実装および完成品組立て

## 従業員数

165人（正社員）

## 取得価額

非開示

## 福島事業所



## 名称

加賀マイクロソリューション株式会社  
福島事業所

## 所在地

福島県須賀川市

## 稼働予定

2019年10月

## 事業内容

通信機器、PCおよびPC周辺機器の  
製造、修理、リユース・リサイクル

## 従業員数

50人（正社員）

## 投資額

約12億円  
(土地取得、建屋・機械設備含む)

## アマタナコン第2工場



### 名称

KAGA ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.  
アマタナコン第2工場

### 所在地

タイ国チョンブリー県アマタナコン工業団地内

### 稼働予定

2019年12月

### 事業内容

複合機、プリンタ、車載関連製品の基板実装

### 従業員数

200人（最大350人）

### 投資額

約5億円  
(土地、建物はレンタル)

## 「HATTEN」局所半田槽



## 合併会社設立のスキーム

2018年10月、中国の生産設備メーカーJT社※と当社のグループ会社、蘇州沢山加賀貿易とで合併会社を設立

## 合併会社の名称

蘇州加賀智能設備有限公司

## 所在地

中国江蘇省蘇州市

## 事業内容

基板実装に関わる生産設備の開発・製造・外販  
(2020年春より量産開始予定)

※正式社名: 深圳市劲拓自动化设备股份有限公司

### 「HATTEN」基盤実装の自動化設備ライン



### 合併会社設立のスキーム

2019年12月、中国の有力基板実装設備メーカー FAROAD社※と当社のグループ会社、蘇州沢山加賀貿易とで合併会社を設立

### 合併会社の名称

蘇州路遠加賀実装技術開発有限公司

### 所在地

中国江蘇省蘇州市

### 事業内容

基板実装設備一式の開発・製造・外販  
(2019年12月より営業開始)

### 合併会社の目的

- ・「多品種少量生産」に最適な「自動化設備」を自社開発
- ・初期導入費用の大幅抑制だけでなく、高品質・低コストオペレーションの実現

※正式社名：深圳市路遠智能裝備有限公司



# 「中期経営計画 2021 (2019 - 2021)」と中長期ビジョン

自立的成長  
+  
更なる  
M&Aの挑戦

加賀電子  
グループ  
+  
富士通  
エレクトロニクス

“グローバル競争に勝ち残る企業”を目指す

“我が国業界No.1企業”の実現へ



商社ビジネスの拡大を  
EMSBiznessの成長につなげる



5,000億円

1兆円

EMSBiznessの更なる拡充

海外Biznessの強化・拡大

中期経営計画 2021 (2019 - 2021)

①収益基盤の強化 ②経営基盤の安定化 ③新規事業の創出

中長期ビジョン

(売上高)



<memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

<memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

<memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

<memo>

---

---

---

---

---

---

---

---

<memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

<memo>

---

---

---

---

---

---

---

---

『すべてはお客様のために』



**問合せ先：IR・広報室**

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail : [webmaster@taxan.co.jp](mailto:webmaster@taxan.co.jp)

<https://www.taxan.co.jp>

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を四捨五入

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入